

【中国経営の参考書籍】

書籍の紹介になります。上海で仕事をしている方や農村地帯で仕事している方へは、お勧めです。

「**上海の職場人間学**」 辻 誠 蒼蒼社; ¥2,520

約10年前の上海での経営状況が判りました。ただし、「農村地帯」「時代の相違」「会計知識の不足」と強く感じました。 ; 上海情報でおなじみの樺島さんからのご紹介になります。

- ・ 上海でも宝山区の、更に郊外農村地帯なので都心部とのギャップ
- ・ 約10年前と現在とのギャップ
- ・ 中国会計の情報と知識の不足

- 工場で死亡事故が発生した後の処理になります
; 示談金の金額も決まりサインも貰いました。次に、示談金の支払方法ですが、「**火葬前**」と「**火葬後**」に分けて支払う。
火葬前に「3分の1」
火葬後に「3分の2」
もし、「**火葬前**」に**全額支払うと遺体を火葬にせずに、会社玄関前に置かれる等でゴネられるかもしれない**
- 日系企業が現地化を推し進めるためには、**中国で優秀な中国人を採用して、管理職として育成する**事が重要である
- 原材料搬入のトラックが行方不明になる。運転手は工場近くの実家に1泊していた
- 上海人の実情×34
 - ・ 上海人は外地人を馬鹿にする。でも、生粋の上海人とは全て近郊農村の出身者である
 - ・ 蘇州や杭州の周辺都市に行くと、自分は地元人よりも「一段上」のように振舞う
 - ・ 上海の男は、バス・地下鉄で「妻や恋人」に席を譲っても、病人や身障者には決して席を譲らない

= **ウソです!** 中国人や上海人でも、バス・地下鉄の中で他人に席を譲る優しい人もいます。ある面では、日本人以上に親切で、優しい上海人でした。

(上海に住んでいた日本人としては、反論いたします!)

(F:記)

【合併・合作法人での会計システム構築】

OVTA 東京事務所等で「中国会計・経営」セミナーを開催していますが、その時に、必ず、付け加えるポイントとして『**中国現地法人の会計責任者を解雇できますか？**』と問題定義しています。そして、解雇が不可能な中国法人ですと「会計の正常化は、かなり難しい」と予想しています。

給与が高く、税務局の意向を背にして、「解雇されない」と知ったので、実質的なボスとして君臨してしまった日系法人が多数あります。

独資法人でも諸般の事情によって会計責任者の解雇が不可能な場合ですが、それでも「中国現地法人の会計を正常化したい」と考えている日本本社や中国現地法人の総経理(社長)からの質問でした。

「**会計責任者の解雇以外で、何か対応策が有りませんか？**」「**何とかならないですか？**」でした。

回答としては、次善の手段として「**棚上げ**」を提案しています。会計実務を自分の子飼い社員や「国際会計に拒絶反応がない社員」に行わせて、現在の会計責任者を実務から外します。

会計の主業務ラインから、中国式会計の意識を除き、そして、実務を日本側・日本本社が責任を持って実施できる体制を構築すれば、中国現地法人の会計も正常化へ進んでいきます。

(F:記)

OVTA アドバイザー
「OVTA-China メンバー」